

渡辺ハウジングOBの皆様と
未来のお客様にお届けする

やすらぎ通信

渡辺ハウジング
03-3959-8743



1月に行く、2月は逃げる、
3月は去る・・・

まさに格言の通りで、早く
も2月中旬を迎えました。
更に、今月は28日と短く、

あっという間に、逃げ・去ってしまいそうです。

どうしましょう。

大事なことは忘れずに済ませなければ
なりませんね。



厳しい寒さは峠を越したとはいえ、まだまだ春とは
名ばかりで、暖かい日差しが恋しいこの頃です。

皆さん風邪は大丈夫ですか？

特に、受験生にとって風邪は大敵。うがいや手洗いでも
予防効果があるそうですので是非実行してくださいね。



この時期になると、そろそろ花粉症も気にな
りますが、どうぞお元気で過ごしてくだ
さい！

大切な家づくりの流れ

3. 地鎮祭

旧家屋の解体が終わり、地盤の状況も整い、いよ
いよ地鎮祭です。

これは、土木工事や建築工事などを始める前に、
土地の神（氏神さま）を鎮め、土地を利用させて
もらうことの許しを得る儀式とされています。

一般的には、工事の無事を祈るもので、地祭り、
安全祈願祭などと呼ばれることもあります。

方法としては、敷地内に紅白の幕を張り、土地の
四隅に青竹を立て、その間を注連縄で囲い、中央
に、お神酒・水・米・塩・野菜や魚などの供え物
を乗せる祭壇を設置します。

そして、神主さんが、祝詞を挙げ、お祓いをして浄め
ます。



この式には、神職者、施主、設計者
及び建築業者らが参列しますが、
土地の盛り砂に、先ず設計者が[鎌]、
続いて施主が[鍬（くわ）]、そして最後に建築業者が
[鋤（すき）]を入れ、その後、神前に榊（玉串）を
奉納し工事の無事完成を願います。

地鎮祭には、大きく分けて神式と仏式がありますが、
神式が一般的とされています。

また慣習的には、吉日と言われる大安・先勝・友引が
選ばれ、執り行われるようです。

短い時間ではありますが、喜びと緊張が混じる神聖な
儀式です。

「雨水（うすい）」

二十四節気の一つで、立春から数えて15日目頃。

空から降るのが雪から雨に変わり、氷が解けて水になる
という意味です。

草木が一斉に芽生える頃でもあり、昔から農業の準備を始
める目安ともされてきました。

春一番が吹くのもこの頃ですね。

しかし、本格的な春の訪れはまだ遠く、時には大雪が降る
こともあります。

三寒四温（寒い日が三日ほど続き、その後四日間くらいは
暖かいと言われる）を繰り返しながら、少しずつ少ずつ
春に向かっていきます。

花開き、鳥のさえずりが聞こえ、何か嬉しい
ことが始まる・・・そんな予感のする春。

待ち遠しいですね！



楽しい・・・？



「アベノミクス効果で景気回復の兆し？」なんて言われても全く実感がありませんよね。

雇用の不安定、生活格差、社会保障問題など何となく将来に不安を感じるという意見がよく聞かれます。

これからどんな風に生きていくか、働いていくのか、何の展望も持てないという人も少なくないようです。

でも人間は、所詮は自分の身と心で生きていくしかありません。

「楽しいことなんて何もないよ」

そんな気持ちをお持ちの方は、少し考え方を試してみても如何でしょう？

毎日の仕事や勉強、掃除、洗濯、炊事そして育児・・・等など自分の日常に関わること。

これらを「仕事」と思わず「遊び」にするのです。遊びにするというのは、その時・その場で行うことに最大限没頭して楽しむということです。

勿論そうは言われても、現実では楽しめることばかりではありませんから、「楽しいことをする」のではなく、「することを楽しむ」と発想を転換するのです。

そうすると、仕事をするのと疲れるという見方も自然と変わってきます。

仕事ばかりしないで、たまには休暇を取り、ゆっくり心身を休めればいいのになんてことも言われますが、日本には元々余暇とか休暇という発想などなかったそうです。

余暇・休暇というのは、明治時代になって西欧から入ってきた考え方で、日本人は西欧から影響を受けて、余暇と休暇の概念を知ってしまったがために、労働は辛いものだから休暇が必要だということになり、仕事をするのと疲れる、となってきたのかもしれません。

日本古来の考え方は、「ハレ」と「ケ」。
つまり、祭りと日常です。

祭りの時は、日常よりも更に忙しいわけですが、そこでは疲れを感じません。

何故？ 誰もが楽しくて、疲れなど吹き飛んでしまうのです。



しかし、働かずに祭りばかりしているわけにはいきませんから、やっぱり基本は、仕事そのものをどれだけ遊びとして楽しめるかどうかということになります。

少し飛躍し過ぎかもしれませんが、仕事を遊びとして楽しめたら素敵ですね。

今やっていることの結果は今味わう。

今やっている仕事を、その時最大限に楽しむのです。そこで、その時没頭したこと、努力したことを楽しむことができた結果にはこだわらない。

その時その時でチャラにして、結果を未来に期待しない。

そういう考え方をして、毎日を上機嫌で楽しく生きると不思議なもので良い結果が運ばれてくる？

そういうものかもしれませんよ。



明るく元気に過ごしましょう！！

「編集後記」

♪♪春は名のみ風の寒さや・・・♪♪

この歌詞通りの日々が続いていますが、この寒さもあと少しの辛抱。段々と和らぎ、梅やネコヤナギ・桃などが一斉に芽吹き始めます。やわらかな日差しの中、気持ちまでふんわり優しくなれる春は、もうすぐそこまで来ています。

春～よ来い、早～く来い。お元気で過ごしてくださいね！

今月号もお読みいただき有難うございます。

※「やすらぎ通信」をメールでご覧いただけます。

ご希望の方は、アドレスをお知らせください。



編集責任者

渡辺 田鶴子